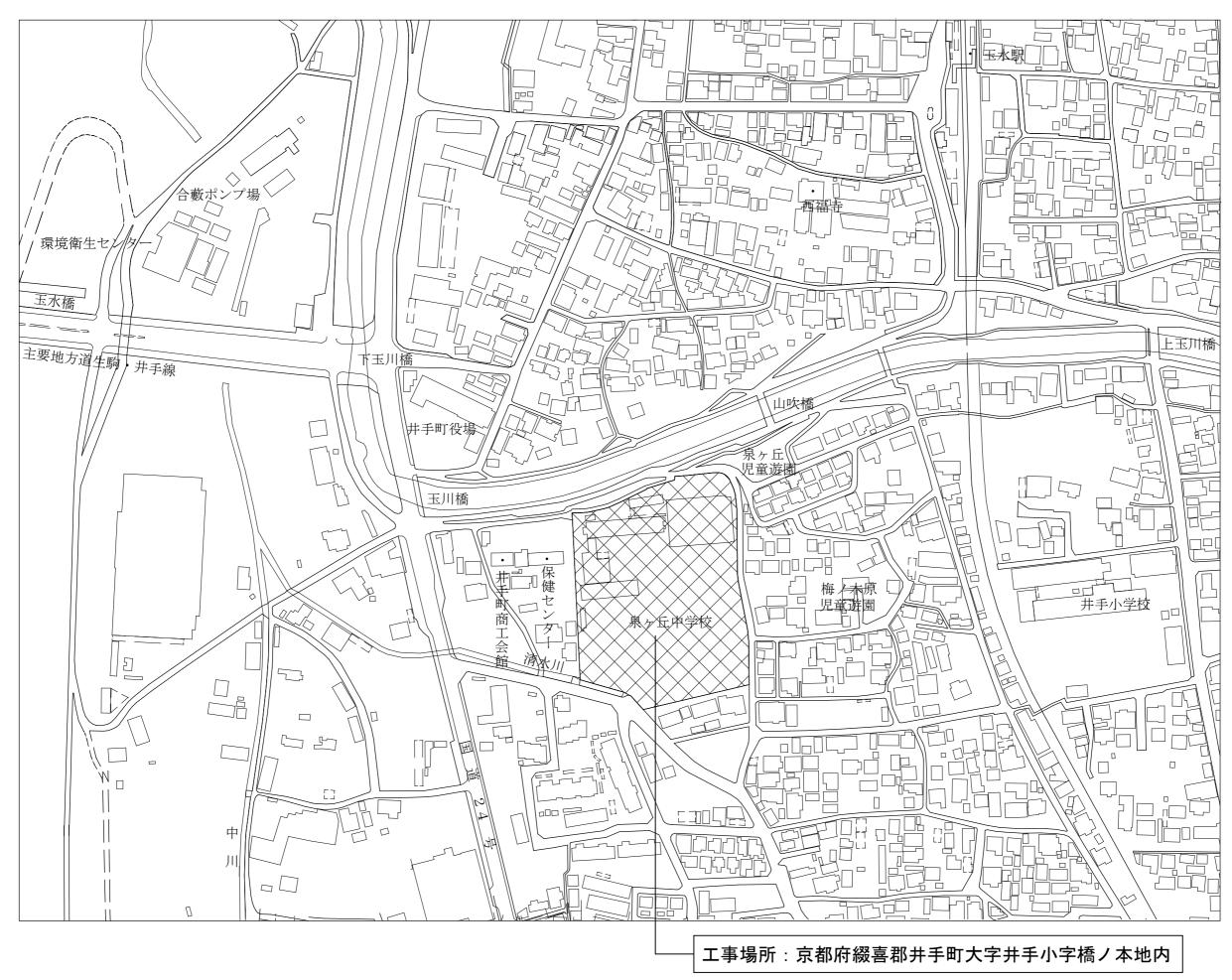
主 紅

泉ヶ丘中学校空調設備整備工事設置計

		図 面	リスト		
A-01	表紙	A-05	本館 1階平面図 本館 南立面図	M-01	改修後空調平面図・立面図 本館 1階・南面
A-02	付近見取図	A-06	本館 2 階平面図 本館 3 階平面図	M-02	改修後空調平面図 本館 2階・3階
A-03	特記仕様書	A-07	空調設備標準図	M-03	改修前空調平面図・立面図 本館 1階・南面
A-04	配置図			M-04	改修前空調平面図 本館 2階・3階

新号 0 1





訂 正

Ν

工 事 名

泉ヶ丘中学校空調設備整備工事

図 面 名

 付近見取図
 新

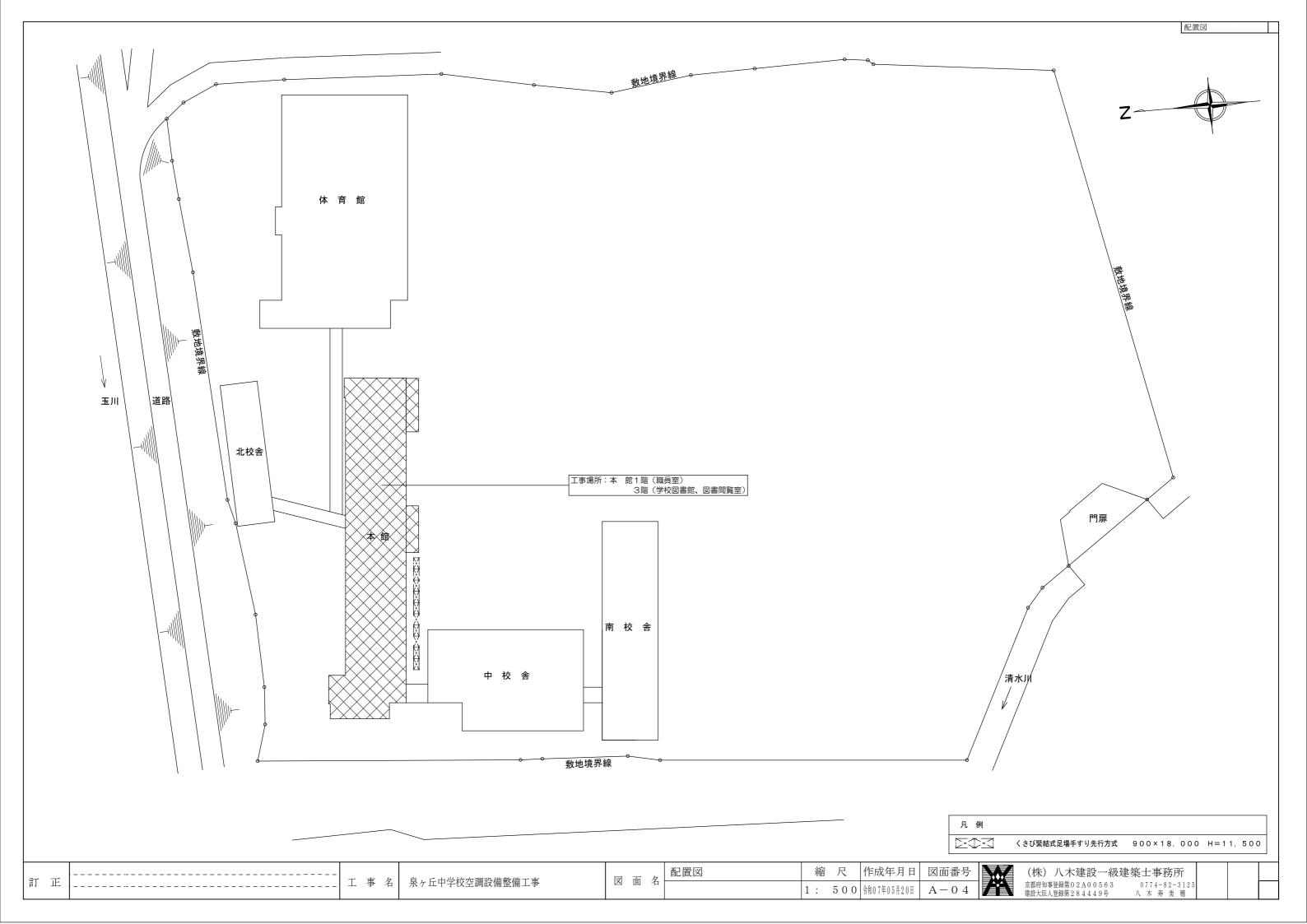
 1:

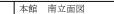
作成年月日 図面番号 命07年05月20日 A-02 第 京

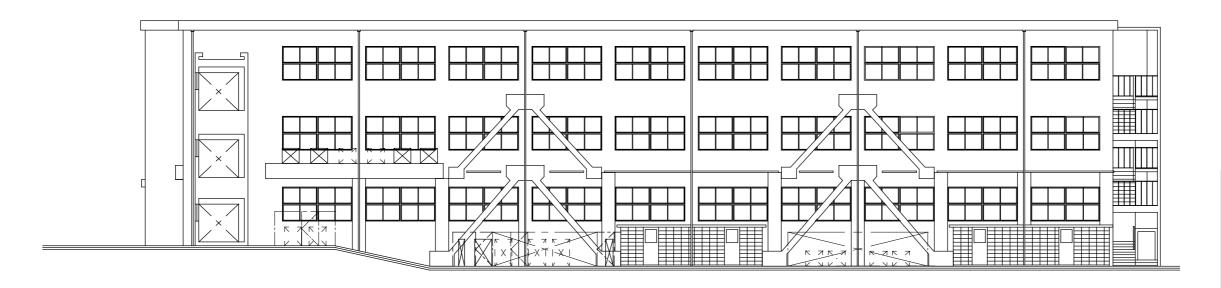
(株) 八木建設一級建築士事務所 京都府知事登録第02A00563 建設大臣人登録第284449号 八 木 寿 美 穂

1 日本 日本 1 日本 日本 1 日本 日本 1 日本	
日本日本 1	
### 20 中の 20 当時間を大力	
### 2	

・ 総合作的任命書 ・	
工 事 別 限 今前の7年 月 日 章工 今前の7年の8月26日 並工	
工事 東	
# 2	
・	
■ 第 工 車 任 様 正面は大学性性に記憶されていいますは、すべて国土交通大流言語が下き 接触を取り、(2) 下に表情報を対していいますは、すべて国土交通大流言語が下き 接触を取り、(2) 大連に乗り、(2) 下に表情報を対していいます。 (3) 大力・アナー ドングラス (2) 大力・アナー (3) 大力・アナー (3) 大力・アナー (3) 大力・アナー (3) 大力・アナー (3) 大力・アナー (4) 大力	
業 新 工 平 任 署	事
無過程機 の正文が特別に機能と配きされていた事項は、すべて国土公議令反言 可管育育者 解析整理の「公共機業工程機では保養したいう」の「は、理様性機当したいう」の「は、 心だり、標準性機等したいう」の「大型・大型・大型は、「公共機械を使す事項性機等したいう」の「大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大	
ただ」、推摩仕機等に配金されていない事項法」(公共建築改修工業種類は指令 (以下「物体共産は指令」という。)及は「無義物族体工事共進仕機等」(以下 「解体共産は指令」という。)とは「基本物体工事共進仕機等」(以下 「解体共産は指令」という。)とした「基本物体工事共進仕機等」(以下 「解体共産は指令」という。)という。 ・ 対域に、特別にの即のついたものを適用する。 2) 特配事項に、の即のついたものを適用する。 3) 特配事項に、の即のついたものを適用する。 3) 特配事項に関係の「)、く >及び「] 内の表示番号は、それぞれ「循準 仕機等」、「定婚類単仕機等」及び「解体共通仕機等」の当該項目、当該図又 と当該支を示す。 東京	
「解作非過性機害」という。)による。 なお、第工を作用示書は、特配性機能で含める。 特配性機 1)項目は、番号に〇目のついたものを適用する。 2) 特配本項は、〇目のついたものを適用する。 3) 特配本項に配金の()、< > 及び [] 内の表示番号は、それぞれ「標準性機能」、⑤の # 項	791 BX
特配仕様 1)項目は、番号に〇目のついたものを適用する。 2)特配事項は、〇目のついたものを適用する。 3)特配事項は、〇目のついたものを適用する。 3)特配事項は、〇目のついたものを適用する。 3)特配事項は、○日のかのいたものを適用する。 3)特配事項は、受けが解決が正確命の ()、<)及び [] 内の表示番号は、それぞれ「爆車(協験)、「次齢率単年機等」の当該項目、当該別文 (法報等)、反び 「解除共通仕様等」の当該項目、当該別文 (法報等)、反び 「解除共通仕様等」の当該項目、当該別文 (表報) 程度 (金外・金内)、天美、風の状況、日計過入状況、測定日日・時間、意の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定目までの日数)。 「計場入状況、測定方用・時間、意の開閉状況、機械換気量、工事完成的事から測定目までの日数)。「計解、力・流流で分とと、 一般事項 (工事施工中に予明せ込事態や保護が生じた場合は、監督職員に報告の上、共売に売りとと。	ゼネラル
2) 特配事項法、○日のついたものを適用する。 3) 特配事項法、○日のついたものを適用する。 3) 特配事項法、○日のついたものを適用する。 3) 特配事項法、② 「解体共通仕標書」の当該項目、当該図又 は当該表を示す。 2) 解析事項法を示す。 2) 解析事項法を示す。 2) 解析事項法を示す。 2) 解析事項法を示す。 2) 表述 「解析共通仕標書」の当該項目、当該図又 は当該表を示す。 2) 表述 「解析共通仕標書」の当該項目、当該図又 表述 「解析主法の表述」 を解析主法の表述 「解析主法の表述」 の 無力 「解析主法の方と」 の 解析手がようと。 の 無工体系図を開始といること。 の 無工体系図を理解に解析すること。 の 無工体系図を理解に解析すること。 の 無工体系図を理解に解析すること。 の 無理 外生 「解析主法の言述」 3) 完成図等 2) 完成図等 2) 完成図等 2 解析主 表述 「解析主法の表述」	
仕様書]、「改修標準性様書]及び「解体共通仕様書]の当該項目、当該図又 は当該表示す。	
## 数字 項	
項 目 特 配 事 項 ① 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上,指示に従うこと。 ③ 計算業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⑤ 施工体系図を現場に掲示すること。 ⑤ 加工体系図を現場に掲示すること。 「工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況、(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・配録し、報告書を監督 ② 完成関 ③ 完成図等 ② 完成図等 ③ 完成図等 ③ 完成図等 ③ 完成図等 ③ 完成図等 ③ 完成図等 ○ 完成図等 ○ 完成図等 ○ 完成図 ○ 作成する ・ 青焼箱小(A 3版)2つ折製本 ・ 青焼箱小(A 3版)2の折製本 ・ 青焼箱小(A 3版)2つ折製本 ・ 青焼箱小(A 3版)2の折製本 ・ 青焼剤の内が表していまる。 ・ 元成図面電子データ J WW形式又は口 X F形式 ・ 青焼剤の内が表していまる。 ・ 元成とない ○ 作成する ・ 作成しない	
① 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、 指示に従うこと。 ① 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事 の円滑な進捗をはかること。 ② 施工体系図を列揚に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状 況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督	
○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事 の円滑な選渉をはかること。 ○ 施工体系図を選挙に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況 (地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・配録し、報告書を監督 ある総揮発性有機化合物測定仕模書による。	
の円滑な進捗をはかること。	
・ 工事着手前及び完成時に,以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤,擁壁,内外壁,床,建具等)を調査・記録し,報告書を監督 別定方法,測定物質及び測定か所等については,この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ① 作成する ・ 作成しない	
職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については, 望. 完成写真 夕 類 サイズ 撮影箇所数 部 数 提出様式	
②. 適用基準等 ○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営締部監修 最新版) 事	
 ⊙ 建築構造散計基準(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版) ⊙ 工事写真の撮り方〈建築編〉第2編 工事写真の撮り方(国土交通省大臣 宮房官庁営繕部監修) ③ 特別な材料 「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工 はは、当該製品の指定工法とする。 ・ 台黒 ・ 2 L ・ 大切り で フリーアルバム (台紙寸法323×270程度) 	
3. 概成工期 工事工期より 目前 項 10. 建築基準法 適 用 工 事 建 築 基 準 法 の 指 定	
による風圧	
 ②. 発生材の	
・特別管理産業廃棄物 (
受入れ施設名 ・所在地(km) ・所在地(km)	
・再生資源化を図るもの 11. 設計G. L. ・ 図 示 ・ 現状平均地盤高 17. 住宅瑕疵 日本現底担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け 担保責任 ・ あり(新業住宅の場合) ・ なし(新業住宅以外の場合)	
種類 受入施設名 所在地(Ma) 備考 。 ②. 技能 ± 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ②. 技能 ± 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ②. 仮思い ③ 設ける ・ 設けない	
・ セメント コンクリート塊 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。 仮囲いの位置及び延長は図示による。	
・ アスファルト エ 事 種 目 技能検定職種 (技能検定作業)	
コンクリート塊 2. 危害防止 ・ シート張り ・ 金網養生	
・ 建設発生木材	
 ・ 建設汚泥 ・ 接飲万泥 ・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 鉄筋組立作業) 	
・現場において再利用を図るもの() ・ 散ける (規模 ㎡程度 請負者事務所と同様 ・可 ・否)	
マンクリート工事	
受入れ施設名・所在地(km) 上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定する ・ 鉄置しない ・とび(とび作業) ・ とび(とび作業) ・ とび(とび作業)	
ものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。 コンクリートプロック コーハク計画 (コンクリートプロック オーハク 計画 は アンクリートプロック アール (コンクリートプロック アール (コンクリートプロック アール (コンクリートプロック アール (コンクリート (コンクリー (コン) (コン) (コン) (コン) (コン) (コン) (コン) (コン)	
5. 電気保安 ・ 適用しない ・ 適用しない ・ プロック建築 (コンクリートプロック工事作業) ・ プロック建築 (コンクリートプロック工事作業)	
技術者	







凡传

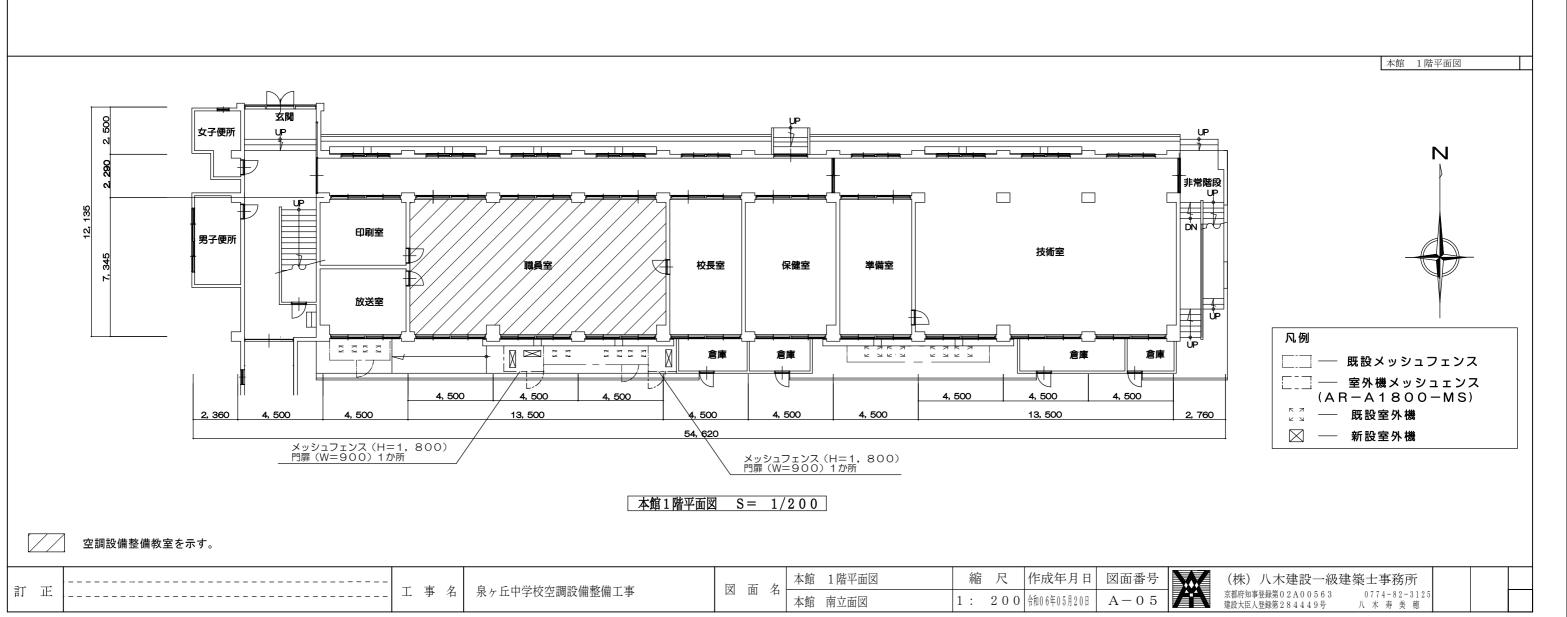
─ ─ 既設メッシュフェンス

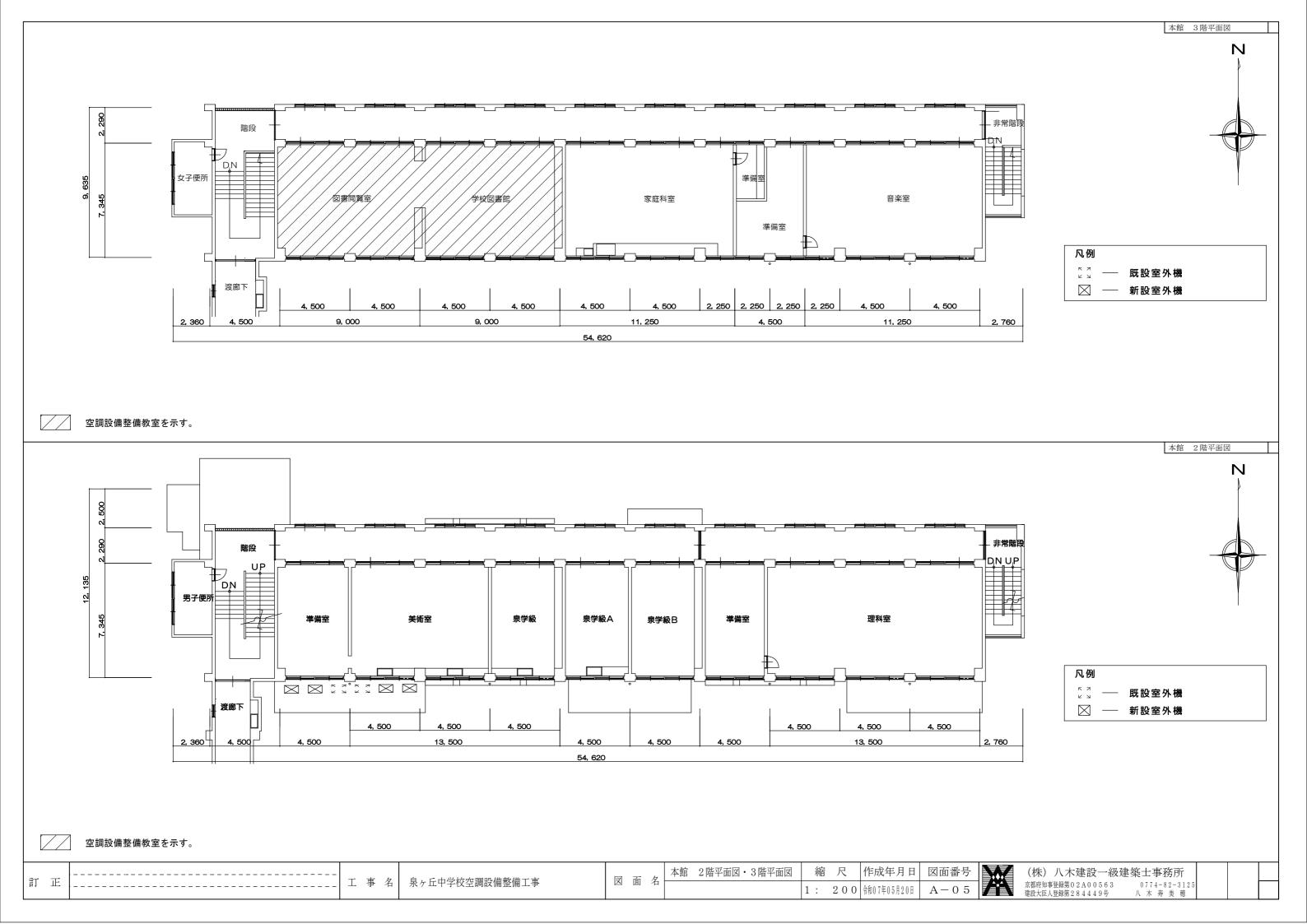
--- ─ 室外機メッシュェンス (AR-A1800-MS)

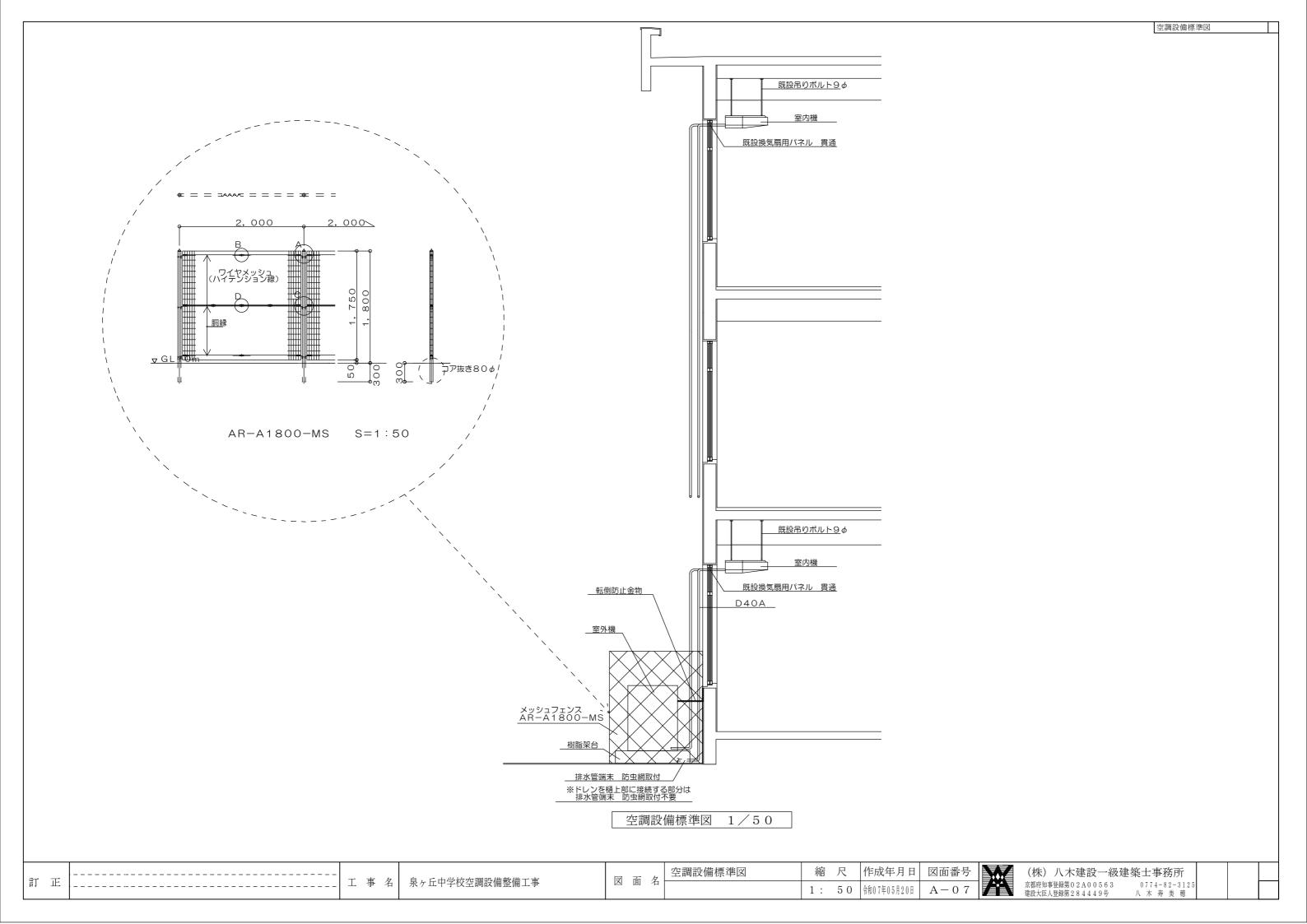
፟៓៓៓ ── 既設室外機

⊠ ── 新設室外機

本館南立面図 S=1/200

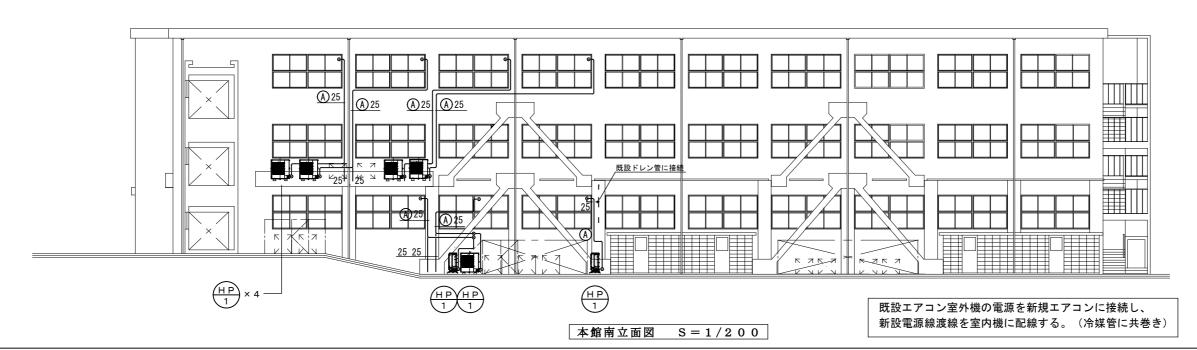






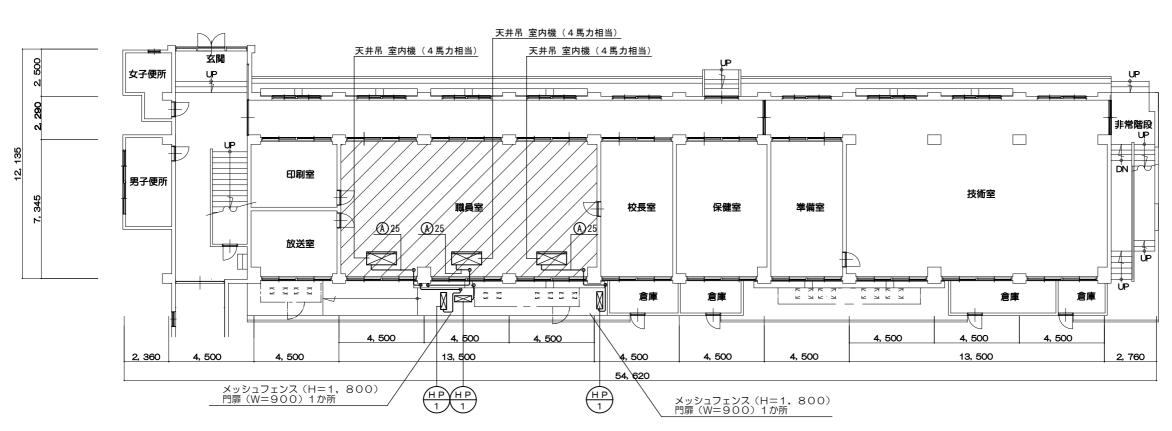


記号	A III	- T	Λ=#± (V)	呵 三 4 人 () ()	消費電力	(Kw))	新具 /V-x)	接続冷媒管	設 置 場 所	台数	* * • • •	/# #
	名 称	電源	冷房能刀(NW)	暖房能力(Kw)	冷房	暖房	圧縮機出刀(Kw)透風機出刀(Kw) 質量 (Kg)	サイズ	以巨物が	口双	参考品番	備考
H P-1	ヒートポンプエアコン 室外機	3 Ø 2 0 0 V	10.0	11.2	2.77	2.70	2.0	0.17	6 0	9.5φ • 15.9φ	屋外	7組	RPC-GP112RSH9	簡易基礎
	室内機 天井吊露出型						_	0.16	4 1	9.5φ • 15.9φ	1階 職員室 × 3			ワイヤレスリモコン共
											3階 図書閲覧室 × 2			
											3階 学校図書館 × 2			



改修後 立面図

本館 1階平面図



Z

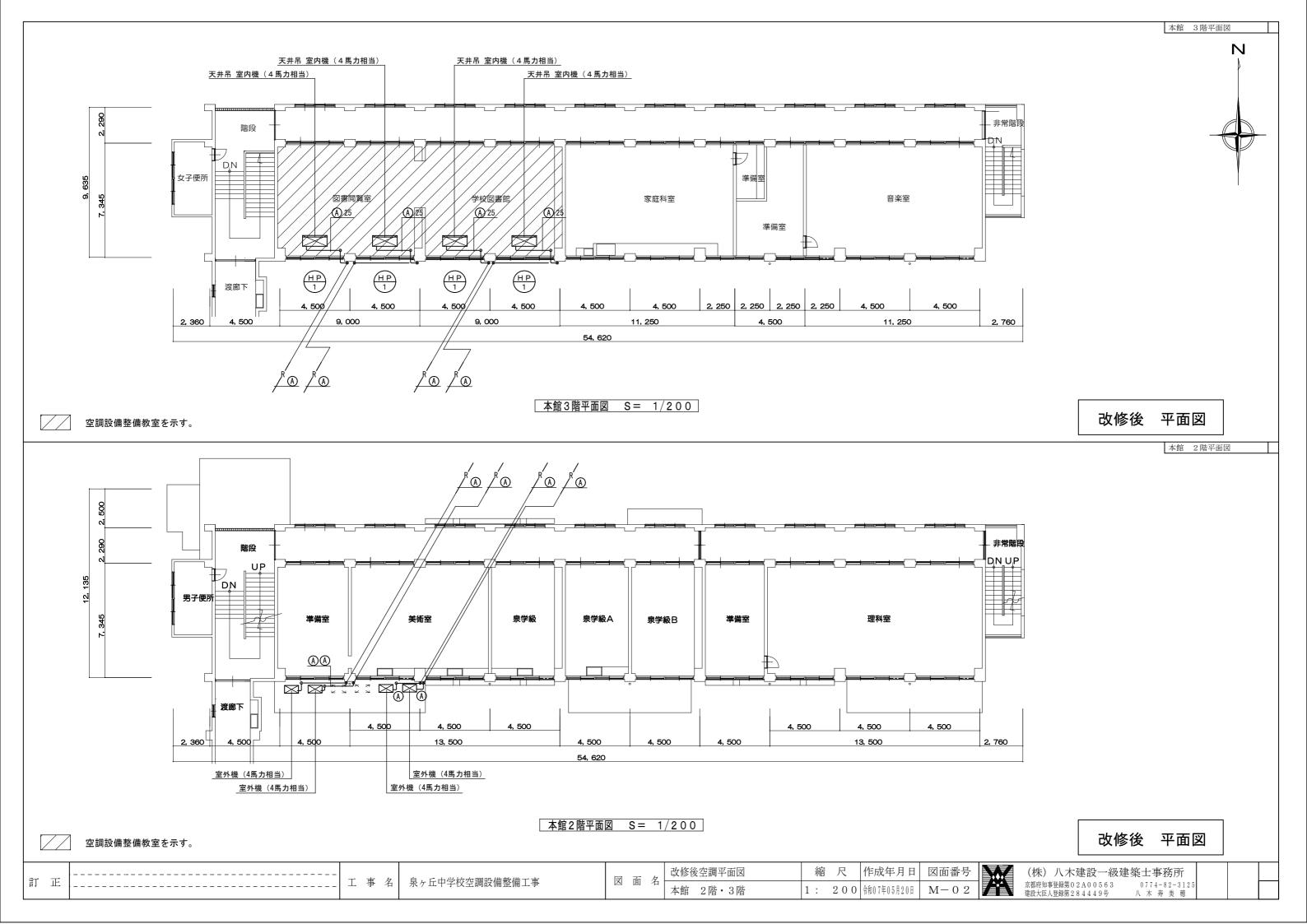
本館1階平面図 S= 1/200

_____ 空調設備整備教室を示す。

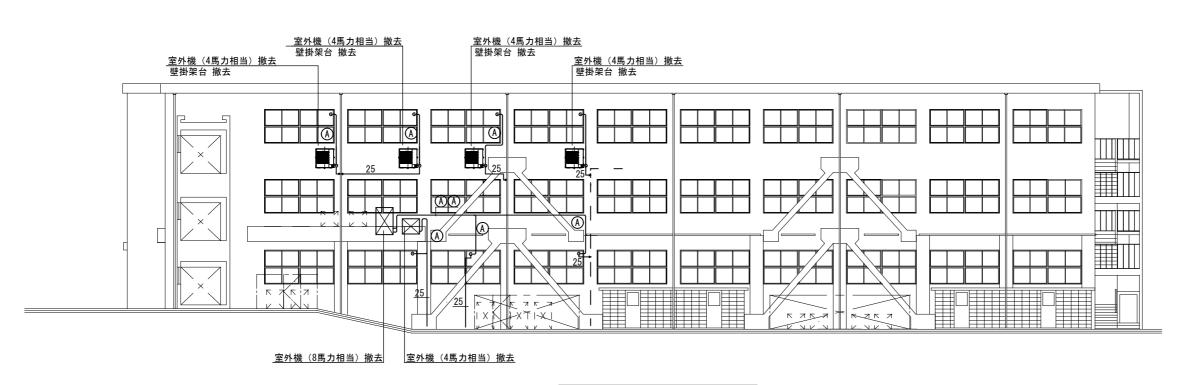
改修後 平面図



(株) 八木建設一級建築士事務所 京都府知事登録第02A00563 0774-82-312: 建設大臣人登録第284449号 八 木 寿 美 穂







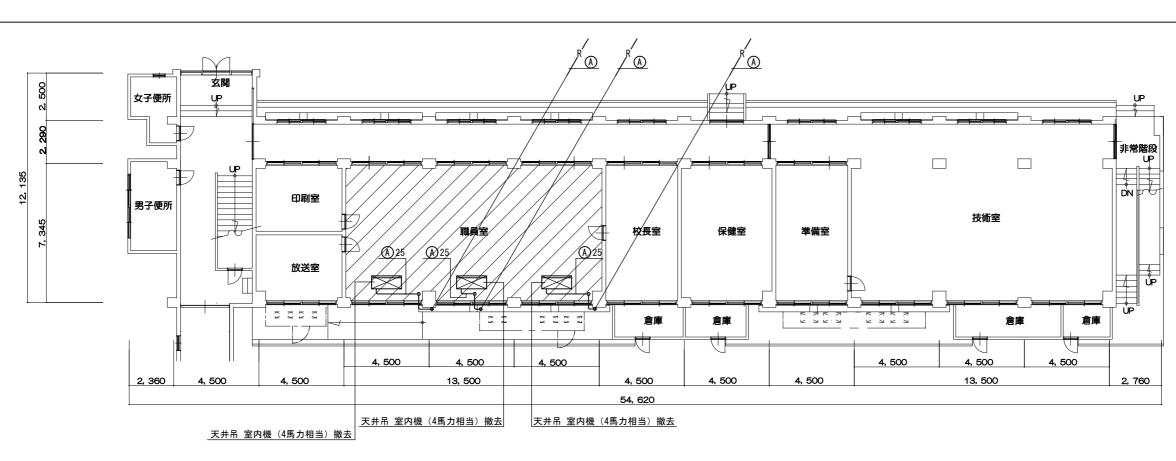
冷媒管リスト

記号	液管	ガス管
(A)	9.5¢	15.9 <i>¢</i>

本館南立面図 S=1/200

改修前 立面図

本館 1階平面図



Z

本館1階平面図 S= 1/200

空調設備整備教室を示す。

訂

改修前 平面図

正 工 事 名 泉ヶ丘中学校空調設備整(

(株) 八木建設一級建築士事務所 京都府知事登録第02A00563 0774-82-3121 建設大臣人登録第284449号 八 木 寿 美 穂

